

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和7年度第3回相模原市障害者施策推進協議会		
事務局 (担当課)	健康福祉局 地域包括ケア推進部 地域包括ケア推進課 電話 042-769-9222 (直通)		
開催日時	令和8年3月30日 (月)		
出席者	委員	13人 (別紙のとおり)	
	その他	/	
	事務局	地域包括ケア推進部長、地域包括ケア推進課長、 福祉基盤課長、高齢・障害者福祉課長、高齢・障害者支援課長、 精神保健福祉課総括主幹、精神保健福祉センター所長、 障害者更生相談所長、陽光園所長 ほか8名	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部 不可の場合は、 その理由	/		
会議次第	1 開会 2 会長挨拶 3 議題 (1)第2期共にささえあい生きる社会さがみはら障害者プランの進行管理・令和8年度障害福祉施策の概要について (2)相模原市障害福祉計画等策定基礎調査結果(概要)について (3)第2期共にささえあい生きる社会さがみはら障害者プラン改訂版について 4 その他 ・共にささえあいサポーター事業の開始について 5 閉会		

審 議 経 過

1 開会

【事務局】地域包括ケア推進部長から挨拶を行った。

2 会長から挨拶を行った。

3 議題

(1) 第2期共にささえあい生きる社会さがみはら障害者プランの進行管理・令和8年度障害福祉施策の概要について

【事務局】資料1、2、3を使用し事務局から説明

(片岡委員) 資料3のP3相談支援の拡充、精神障害者の入院者訪問支援事業の説明文について、入院しているすべての人が該当するわけではなく、市町村の同意あって入院した方限定である。入院してる方への訪問支援事業というのは雑な書き方に感じるため修正していただきたい。

【事務局】今回の資料3については会議用の資料として作成しているものである。一般市民の方への周知については、より誤解の無いよう分かりやすい表現とする。

(村井会長) 今回は会議資料として概要版となっていると考えられる。最終的に一般公開する際には、片岡委員のご発言の趣旨どおり修正いただければと思う。

(小砂委員) 資料1 障害者一般就労の実績について197名とあって、雇用率算定の状況が、当時目標を設定していた状況から変わり、既に目標を達成しているため、目標を上方修正すべきと思うがいかがか。

【事務局】今後の令和8年度の計画策定のところで、あらためて情報をお示しした上で、審議会でも協議いただき必要であれば修正したいと考えている。

(片岡委員) 資料3、4pの地域児童精神科医療寄付講座開設事業（債務負担行為）の説明文に「児童精神科医療体制の充実及び児童精神科医療分野の研究等を行う」とあるが、事業について説明いただきたい。学校等で様子のおかしい生徒へは精神科を

案内され、精神科が病名を付けて薬漬けにするという話があった。そのうえで、その事業はどういうものか伺いたい。

【事務局】

主に、発達障害のある子どもを診る児童精神科医育成のための講座で北里大学病院の協力のもと行っている講座となっている。児童精神科医の育成・養成をすすめることで、体制の充実を図る目的で開始したものである。

これを持って児童精神科医の医療体制の充実を図っていくために相模原市に協力いただいている。

(片岡委員) 事業は発達障害に向けてのものという認識で良いか。

【事務局】児童精神科医の確保が難しく、子どもに対しての医療体制が不十分であり、児童精神科医の確保に向けて始めたものである。主に発達の課題を見ていく医師の育成を行っている。

(鈴木委員) 資料3の5ページ医療的ケア児者等の受入れに係る医療型短期入所及びメディカルショート事業の運営支援について、地域で暮らす親御さんからはこういった事業は非常に必要だと聞いているが、どのような定員増を予定しているか、具体的なものがあれば教えていただきたい。

【事務局】

定員増の目標までは設定できていない。目標設定が難しく、短期入所が利用できないといった意見は承知している。医療型短期入所は看護師不足で受入れが厳しいため、看護師確保のための補助を行っていく予定である。

(鈴木委員)

有り難い事業なので、引き続きお願いしたい。

(今井委員) 資料1のR6年度就労実績197名となっているが、障害別の内訳の数字は把握しているか。

資料3 1p 障害者支援センター費の増加は「相模原市立上九沢身体障害者デイサービスセンターの施設改修」で増加しているということで良いか。

資料3の2ページ(イ) 障害者更生相談所運営費が少なく感じるが、。障害者手帳交付についても障害者更生相談所が関わる内容だと思っている。令和8年度はこの予算で進めていくと思うが、今後どのような役割で進めていくのか教えていただきたい

【事務局】

資料1の一般就労移行者数について、調査の中で障害別の集計をしている。計画の進行管理の中で、状況等ご説明出来たらと考えている。

資料3「相模原市立上九沢身体障害者デイサービスセンターの施設改修」について令和8年度には空調機の更新を予定している。4600万円程度予算を確保している。

資料3の2ページ（イ）障害者更生相談所運営費について、内訳は、補装具更生相談33回、医療機関からの書類の判定、巡回相談（3区で行う来所相談）である。中央・緑の巡回相談については障害者更生相談所長が実施しているため、運営費に入っていない。その他の事業については嘱託職員が実施しているため人件費。身体障害者手帳、療育手帳のカード作成費である。充足していないところもあるが、現在はこの事業費でやっている。

（今井委員）承知した。強度行動障害支援者養成研修も各事業所で開始し、加算がついている状況ではあるが、強度行動障害がある方への支援が難しい認識をしている。以前、神奈川県のも更生相談所から、巡回相談で支援をしていただいていた。将来的にも更生相談所としてそのような役割も考えていただきたい。

（片岡委員）重度障害者福祉手当が今年9月をもって廃止と聞いているが、廃止が決まった時点では、物価が高くなかったが、物価高になったタイミングで、議員に話をして廃止は保留になったと聞いている。3月24日の市議会にて採決を取るとのことだったが、市議会では否決されたという認識でよろしいか。

【事務局】 令和8年3月に議会に提出された陳情の件だと思うが、重度障害者等福祉手当の廃止については、令和6年3月に可決されている。その後、陳情で一時保留してほしいとご意見があったが、陳情は不採択となっている。

（吉原委員）資料3の1P 身体障害者手帳の肢体障害者の取得数が少し多く感じる。人工股関節であっても障害者手帳が取得できないと聞いているが、数が多い理由をお伺いしたい。

【事務局】 精査しているわけではないが、人工関節が身体障害者手帳対象外となったのが平成26年だが、現在の統計に影響があるとは思えない。全体として、身体障害者のうち、約3分の1は肢体不自由である。全体として高齢の方が多いためと推測はできる。毎年申請が増えてはいるが亡くなる方もいるので、総数としては横ばいとなっていると考えられる。

(2) 相模原市障害福祉計画等策定基礎調査結果(概要)について

【事務局】資料4を使用し事務局から説明

(片岡委員)

ヘルプマークについて、福祉施策懇談会にて同じような質問があったが、市民の方への周知、浸透ができていないと感じるため注力してほしい。

【事務局】十分に周知が進んでいない部分がある。具体的な手段は現在無いが、多くの場所で多くの市民の方の目につくような周知を進めていきたいと思っている。

(木村委員)

前回の協議会にて要望を出させたいいただいた、身体障の各種別に分けた回答数を今後、教えていただくことは可能か。先日アンケートが送られてきたものを見ても、分からずに回答しないという人もいたと考えられるため、数を教えて欲しい。

【事務局】現在、回答は集計中となっているが、アンケートの発送数を報告させていただく。聴覚・言語 76名、肢体 319名、内部 283名、視覚 54名となっており、身体障害者はこの内訳でアンケートを送付した。

(木村委員) 回答数は把握しているか。

【事務局】

現在、調査の全体を含めて委託しているが、最終的な数は後日改めてお示しさせていただきたい。

(渡辺委員) 資料4の6pの6番目安全な歩道の確保について。南区に住んでいるが、歩いていると、狭い歩道に段差があり、車いすでは通れない道があり危険である。杖をついても危ないと思うところが、歩道になっていて、歩道以外でも、道路が狭く白いラインがあってもおよそ通れない。共にささえあい生きる社会と市長も言っているが、全市をあげて対応してほしいところである。要望として受け取ってほしい。

(片岡委員) 3月15日に福祉施策懇談会で車いすと杖の会から、歩行についての意見を上げた。市長と関係課より回答があった。会長が話をして、市長とのやり取りもあったため、報告させていただく。

【事務局】少し補足をさせていただく。福祉施策懇談会については、市の道路関係部

署や開発部署が出席をして、回答させていただいた。内容としては、計画に定めたものから順次進めていきたいという内容である。

(井本委員) 資料4の2ページ、5ページについて、相談支援の拡充と結果が出ている。先ほど、相談支援の経費が少ないと意見も出ており、市民が相談の場所を求めていると考えられる。この結果を踏まえて考えていることがあれば教えていただきたい。資料1で一般就労は増えていると結果だったが、基本目標4では、企業で働いているの数が上がっていない。資料1の結果を見ると基本目標4の結果は上がるのではないかと感じるがいかがか。

【事務局】相談支援の拡充については、障害者施策の見直し及び転換の中でも積極的に取り組むこととしている。この結果を踏まえてあらためて充実についての検討を考えていきたい。

また、一般就労移行の企業で働いている方が減っているという点について、調査の詳細を確認していく中で、どういった原因があるか確認したうえでこの審議会の中でご意見をいただき、検討を進めていきたいと思う。

(今井委員) 1pの回収結果で、知的障害、重症心身障害者、発達障害者の一部について、家族や支援者の回答があると思うが内訳や区別は分かるようになっているか。

【事務局】アンケートの中では本人、支援者、家族といった回答者が誰か選択肢を設けているため、集計結果の中で内容をお示しできると考えている。

(村井会長) 令和11年度の目標に向けて数値目標が順調に推移しているかというところは注視していきたい。数値では表せないところを評価することが大事である。いかにして拾っていくかというのも重要なんで引き続きお願いしたいところ。ヒアリングと自由記述をどうやって分析するかが大事。

また、身体障害者の内訳について、国が発表している割合を見ると、肢体不自由が50.2%、内部障害33.1%、聴覚・平衡機能障害9%、視覚障害6.6%、音声・言語・咀嚼障害が1.2%。部位は上肢下肢、体幹等やその他分類があるので、相模原市としては国と揃えた形で出てくるとイメージしてよいか。

【事務局】身体障害者の内訳については本市の割合に準じて配布している。本市の内訳は、肢体46%、内部障害36%、聴覚・平衡・言語・音声・咀嚼をまとめて11%、視覚障害者が7%として配布を行った。

(村井会長) そうなると内部は全国平均でやや多く、むしろ身体がやや少ないと感じる。

(3) 第2期共にささえあい生きる社会さがみはら障害者プラン改訂版について資料5に基づき、事務局から説明した。

(4) その他

共にささえあいサポーター事業の開始について高齢・障害者福祉課より説明。

(村井会長)

認知症サポーターの障害向けというところか。研修は受けてくれるが実際のサポーターの役割がいまひとつと感じているためこちらには期待したい。

・事務局から令和8年4月1日付人事異動について、委員へ報告を行った。

4 閉会

以 上

相模原市障害者施策推進協議会 委員名簿

	氏 名	所 属 等	備考	出欠席
1	浅沼 一也	特定非営利活動法人神奈川県難病団体連絡協議会		出席
2	石井 和馬	一般社団法人相模原市手をつなぐ育成会		出席
3	石井 弘子	一般社団法人相模原市手をつなぐ育成会 理事		出席
4	今井 康雅	相模原市障害福祉事業所協会 会長	職務代理者	出席
5	井本 裕堂	公募委員		出席
6	片岡 加代子	相模原市精神保健福祉家族会みどり会 理事		出席
7	木村 健	相模原市聴覚障害者協会 役員		出席
8	小砂 哲太郎	公募委員		出席
9	小林 輝明	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会 常務理事		欠席
10	佐々木 学	相模原公共職業安定所 所長		欠席
11	鈴木 泰明	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団 常務理事		出席
12	高橋 滋子	相模原市視覚障害者協会 理事		出席
13	中村 伸江	相模原市民生委員児童委員協議		欠席
14	藤原 英明	神奈川県立津久井支援学校 校長		欠席
15	堀 朋子	相模原市精神障がい者仲間の会(あしたば会)		欠席
16	村井 祐一	田園調布学園大学 教授	会長	出席
17	水上 潤哉	一般社団法人相模原市医師会 理事		欠席
18	安永 佳代	神奈川県弁護士会		欠席
19	吉原 君子	相模原市肢体障害者協会 会長		出席
20	渡辺 幸雄	公募委員		出席